**ご挨拶**

みなさん、こんにちは！

本日は、第１回となる「地域創造ハイスクールサミットin北栄」の開催についてご案内いたしましたところ、北栄町長 松本昭夫 様、鳥取県教育委員会教育長 山本仁志 様、新日本海新聞社主幹、本校同窓会長、 佐伯健二 様はじめ多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開催することができますことを心から感謝申し上げます。また、鳥取大学准教授 大谷 様、島根県教育魅力化特命官 岩本 様には討論会におけるコーディネーター及び講評をお引き受けいただきました。誠にありがとうございます。更には、中国四国地方の高校から５校、そして東京の大学からも視察においでいただきました。皆様、本当にありがとうございます。

、地方から都市部への人口流出が高校卒業段階で始まっていることが明らかになっています。地方創生を実りあるものにするためには、先ず、高校生が生まれ育ったふるさとに関心を持ち、地域の魅力に改めて気付くことが必要です。

もちろん、私たちの取組みは、高校生を地域に縛り付けようとするものではありません。高校生諸君の中には、東京でやりたいことがあるんだ、という人もいるでしょう。世界に羽ばたく夢を持っている人もいるかも知れません。どうかその志を遂げてください。応援します。

しかし、それと同じくらい地域でやるのも面白い、魅力に満ちている、ということを知ってほしいのです。

そして、高校生諸君の多くが、やがて将来、自ら地域のリーダーとなってふるさとの未来を切り拓く、そのような志を抱くようになってほしいと願うのであります。

島根県立隠岐島前高校と兵庫県立村岡高校の取組みは、高校と地域が連携して地域の活性化につながった先進例です。鳥取県においても智頭農林高校、岩美高校、日野高校など、積極的に地域との連携事業を進めている学校もあります。しかし一方で、それらは離島や中山間地という特殊な環境での事例であり、一般的ではないという意見もあります。それに対して、私たちは全国の多くの人口減少地域が、それらの学校や地域における先進的な取組みの成果を共有し、一般化することこそ「地方創生」につながると考えているのです。

尚、本日参加予定だった隠岐島前高校は、しけのため、フェリーが欠航となり、お出でいただくことができませんでした。やむを得ず、インターネットによる生中継で参加していただく準備をしたところです。何分初めてのことなのでスムーズに行かないこともあるかもしれませんが、出来るだけ島前高校とも議論を共有していきたいと思います。

鳥取中央育英高校では昨年８月１２日、地元北栄町と「地域探求の時間」推進協約を締結し、地域と連携して探究活動に取組み始めました。北栄町は名探偵コナンに会える町、「お台場」のある歴史の町、スイカ・長いも・ブドウなど高級ブランド特産品で発展する町、そして風車・太陽光発電の町でもあります。北栄町を中心に、近隣の琴浦町、湯梨浜町、三朝町、倉吉市にも探究のフィールドを広げ、地域で活躍する各方面のスペシャリストの方を講師に２５のテーマで地域の魅力や課題を探求しました。

第１回となる「地域創造ハイスクールサミットin北栄」は、島根県、兵庫県、そして鳥取県の高校７校がこの鳥取中央育英高校において、地域創造をテーマに意見発表し、ディスカッションを行います。これまで、学校と地域が連携して活性化につながった成功例は全国各地にありますが、高校生どうしがその取組みを発表し合い、目標を共有する機会はあまりなかったと思います。

は、「地域創造ハイスクールサミットin北栄」での議論を通じて、今後の活動の共通目標を確認できれば意義深い取り組みとなるのではないかと考えています。

参加各校の代表生徒の皆さんには、特色ある発表と高校生らしい活発な議論を期待したいと思います。会場の生徒諸君は将来の生き方を考える絶好のチャンスです。積極的な姿勢で参加してください。また、ご来場の皆様には高校生の発表や意見に対して、温かい拍手を賜りますようお願い申し上げまして、ごあいさつと致します。

　　　平成２７年１２月５日

鳥取中央育英高等学校

校長　横山　尚登